

平成28年度 事業報告

産業クラスター研究会オホーツク

麻プロジェクトリーダー 舟山 秀太郎

【麻プロジェクト】

日 程	内 容	場 所
5月28日 ～ 6月3日	○北海道産業用大麻協会主催 「オランダ・ドイツ ヘンプ産業視察ツアー」 ● 進藤幹事が参加	オランダ・ドイツ
10月13日	○はまなす財団 地域づくりシンポジウム2016 ● 舟山リーダーが参加	札幌市
10月24日	○第6回北海道産業用大麻可能性検討会 ● 事務局が参加	札幌市
2月20日	○第7回北海道産業用大麻可能性検討会 ● 舟山リーダー、及び事務局が出席 麻プロジェクトの今までと今後の取組みについて報告	札幌市
3月23日	○麻シンポジウム研究会 ● ヘンプボード試作製品の報告と商品化の可能性について 講師 (株)イワクラ 管理部 技術開発室 室長代理 清原 征裕 氏 ● ヘンプ産業先進地視察 (オランダ・フランス) 報告 進藤幹事 ● 北海道産業用大麻可能性検討会の動きについて 北海道農政部 農産振興課 佐々木主幹	北見市



【オランダ・ドイツ ヘンプ産業視察ツアー】

- 北海道産業用大麻協会が主催する、オランダ・ドイツ ヘンプ産業視察ツアーに、先進地区の動向調査を目的として、麻プロジェクトメンバーである進藤幹事が参加した。



【麻シンポジウム研究会】

- 28年度については、麻プロジェクトの事業として、プロジェクトメンバーの海外先進事例視察・おがらを原料とした建築用資材としてのボードの試作などを実施した。
- ボード試作について一定程度の結果が見えたことから、委託先の(株)イワクラより技術担当者を招聘の上、プロジェクト関係者を参集範囲とし、今年3月に事業報告を兼ねた報告会を開催した。

【イソップコリドール】

① 農業クラウド基盤構築事業

「地域バイオマスの農業資材化技術開発と圃場マネジメントの高度化」推進

② 地域融合フォーラム テーマ：農業情報の今日的利活用の提案

日時 平成29年1月31日(火) 場所 ホテル黒部 参加 134名

内容

農業における情報の生成とその利活用紹介

ドローンや自動操舵より生成されるデータの活用事例等

生体メカトロニクスの精密農業技術への応用

振動制御による精密な葉面散布などの実現に向けた研究紹介

大豆の新しい食べ方紹介

大豆フードクラスター開発商品群の試食会



③ 付加価値フードクラスター構築事業

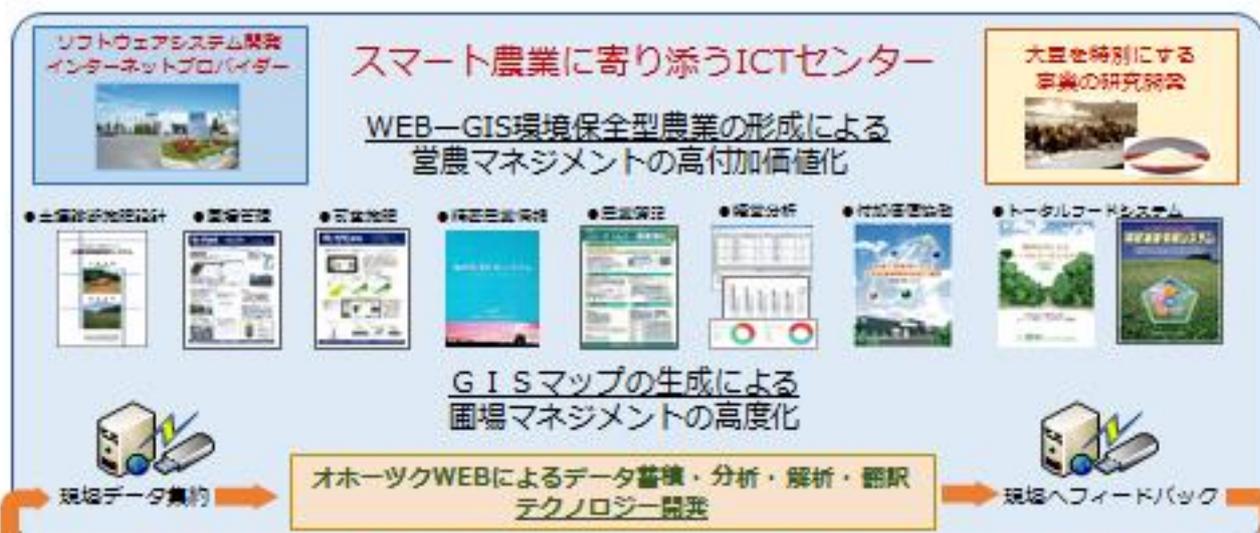
大豆μフーズと高オレイン酸ひまわり油脂を核に植物由来の発酵バターを試作研究開発。
ひまわり生産は台風の被害大により油脂製品は150キロ。

④ 旧サロマトネルの有効活用調査研究

事業化へ向けた調査を継続実施してきたが、民間への譲渡につき超えることのできな
い課題あり。これまでのアプローチでの調査研究は終了する。

上記①②の事業を通して【持続可能な農業に資する新しい枠組みの提供】体制が整った。(次ページ参照)

持続可能な農業に資する新しい枠組みの提供 ～アプリケーションの集約による農業クラウドサービス～



安心・安全・生産性に資する営農システムの実装〈付加価値基盤形成〉



圃場の力を高める
物質循環事業

有機質・微生物
利用実証実験



センシング・圃場実装
圃場実装実証実験



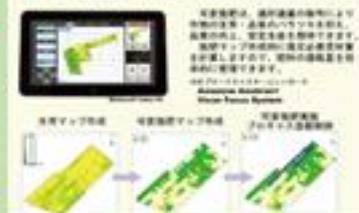
● G-PAD

圃場の作業効率を向上し、作物生産を最大化するための
現場で農業者が作業を支援する



● 可変施肥システム

圃場の作業効率を向上し、作物生産を最大化するための
現場で農業者が作業を支援する



営農マネジメント
の高度化事業

センシング技術
の高度利用



● 自動操舵システム ● 収量センサー搭載ロボットコンバイン ● 草検出・除草サービス



傾斜センサー
検出センサー

収量センサー
水分センサー



【テレワーク】

◆地域活性化におけるテレワークの普及啓発

・オホーツクにおける地域活性化のための「テレワーク」を推進すべく、普及啓発活動を中心に実施した。

28年度 テレワーク事業実施報告書

北見地域の特性を活かしたテレワークプロモーション活動

東京都内の企業を中心に訪問し、北見市ふるさとテレワークについてのPR活動を実施

- ・ 日本航空
- ・ 富士通
- ・ 東急電鉄
- ・ 住友生命
- ・ ワークライフバランス など約10社

プロモーション活動の成果

- ・ 新日鉄システムソリューションズ様 10名様ご一行の視察が決定
- ・ 7月13日 北見市
- ・ 7月14-15日 斜里

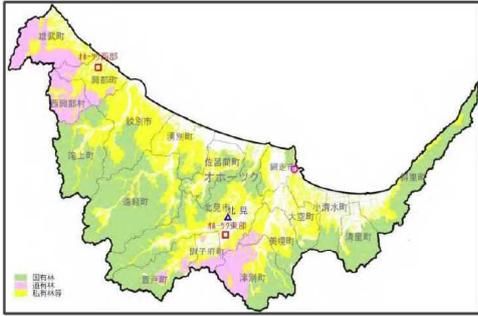


オホーツク林産物の利用形態

平成29年3月

産業クラスター研究会オホーツク 幹事 有田敏彦
委託元：産業クラスター研究会オホーツク
(委託調査実施機関 企業組合 北見産学医協働センター)

【オホーツク管内 森林の分布】



林業の担い手

【オホーツク林業 常用労働者の年齢構成】



林産業

【製材生産量】

(平成24年度実績 単位: m³)

市町村	道営林		計	私有林		計	道営林		計	私有林		計
	計	伐採		計	伐採		計	伐採				
網走	0	0	0	3,227	287	3,514	9,227	287	9,514	2,227	287	2,514
清里町	0	0	0	5,164	79	5,243	5,164	79	5,243	0	0	0
小清水町	0	0	0	6,152	19	6,171	6,152	19	6,171	0	0	0
大空町	0	0	0	17,988	218	17,996	17,988	218	17,996	0	0	0
網走市	0	0	0	24,716	623	25,339	24,716	623	25,339	0	0	0
美幌町	10,787	172	10,959	71,873	1,244	73,117	82,749	1,516	84,265	0	0	0
津別町	13,634	397	14,031	40,040	792	40,792	56,574	1,148	57,692	0	0	0
北見市	2,117	22	2,139	112,423	11,222	123,645	114,540	11,244	125,784	0	0	0
網走市	1,284	19	1,303	9,107	307	9,414	10,701	326	11,027	0	0	0
美幌町	672	0	672	66,490	1,325	67,815	67,812	1,326	69,558	0	0	0
佐呂間町	0	0	0	7,652	96	7,748	7,652	96	7,748	0	0	0
計	28,784	661	29,435	366,332	16,272	382,604	395,116	15,823	412,039	0	0	0
道営林	0	0	0	23,541	1,626	25,167	23,541	1,626	25,167	0	0	0
私有林	0	0	0	58,833	711	59,533	59,533	711	59,544	0	0	0
計	0	0	0	47,617	6,804	54,421	47,617	6,804	54,421	0	0	0
道営林	0	0	0	27,815	2,468	30,284	27,815	2,468	30,284	0	0	0
私有林	3,519	149	3,668	11,149	397	11,573	14,695	370	15,055	0	0	0
計	7,613	284	7,897	31,444	0	31,444	10,757	284	11,041	0	0	0
道営林	310	29	339	17,730	255	17,985	18,040	284	18,324	0	0	0
私有林	11,442	456	11,898	187,920	12,692	200,618	199,969	13,148	212,216	0	0	0
計	40,226	1,107	41,333	554,258	28,944	583,222	584,484	30,071	624,555	0	0	0
平成23年度	60,672	1,316	61,988	587,638	31,109	618,739	648,310	32,417	680,727	0	0	0
対前年比	66.7%	84.1%	66.7%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%	0	0	0
平成22年度	57,244	2,707	59,971	591,095	32,993	623,688	648,389	35,300	683,689	0	0	0
対前年比	70.2%	40.9%	69.9%	93.8%	89.9%	93.5%	91.7%	85.2%	91.4%	0	0	0

林産事業との関わり

森林資源の循環利用と林業・木材産業などの地域産業を再生させることを目的に、オホーツク地域の木材を活用する取組が進められている。

【平成24年1月】

関係者が集まり「津別町森林バイオマス利用推進協議会」が立ち上げられ、地域の特性に応じた熱電利用を促進するため地産未利用材の収集や燃焼試験等を行い、目指すべき指針として「津別町森林バイオマス熱電利用構想」を策定。

また、津別町単板協同組合(津別町)の木質バイオマス発電施設が平成25年3月に開業。開業可能エネルギー単一固定価格買取制度(FIT)に基づく施設として認定され、熱に加え発電利用も活発化している。

【平成25年6月】

管内全市町村で推進方針が策定され、森林整備加速化・林業再生事業等を活用して8市町村、17施設(H25予定含む)の木造・木質化が木造公共施設等整備として実施。

オホーツクの森林状況

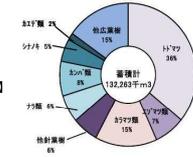
【所管別森林面積】



【林種別森林面積】

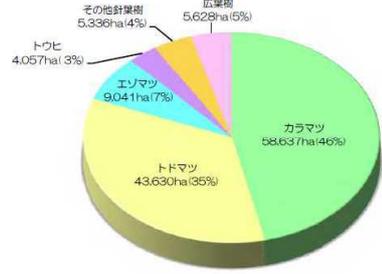


【樹種別森林蓄積】



資料：「平成24年度北海道林業統計」

人工林の樹種別面積



【管内森林組合の現況】

(資料：森林組合現況調査一覧 H23年度)

組合名	管轄地域	組合員数	組合加入森林面積	加入率
清里町森林組合	清里町	84人	694ha	53.8%
美幌町森林組合	美幌町、津別町、大空町、北見市	526人	9,748ha	74.1%
佐呂間町森林組合	佐呂間町、北見市、津別町、遠軽町、紋別市	578人	6,208ha	79.8%
海上町森林組合	海上町、奥部町、西興部村、雄武町、紋別市	307人	6,184ha	77.5%
雄武町森林組合	雄武町	313人	9,225ha	65.9%
北見広域森林組合	北見市、訓子府町、蘆川町、佐呂間町、遠軽町、網走市、美幌町、大空町、津別町	2,188人	28,558ha	66.9%
新世世森林組合	蘆川町、訓子府町、北見市	697人	10,051ha	87.5%
オホーツク中央森林組合	紋別市、海上町、奥部町、雄武町、西興部村、津別町	902人	23,902ha	59.7%
遠軽地区森林組合	遠軽町、津別町	1,233人	28,702ha	71.8%
網走地区森林組合	網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町、美幌町、北見市	1,547人	24,180ha	77.8%

【原木消費量】

(単位: m³)

年度	製材用		木材チップ用		合算消費		その他用		合計						
	計	対前年比	計	対前年比	計	対前年比	計	対前年比	計	対前年比					
平成24年度	462,756	12.5%	475,281	235,189	118,061	353,250	286,751	15,501	314,252	6,316	5,402	12,218	1,903,022	151,979	1,851,043
平成22年度	485,602	10.9%	506,530	252,254	118,578	370,912	317,712	14,433	331,355	5,991	5,355	11,326	1,071,128	148,914	1,220,042
対前年比	97.1%	91.8%	99.8%	92.9%	99.8%	94.2%	109.6%	84.8%	95.4%	103.6%	103.6%	92.6%	103.6%	94.7%	94.7%
平成23年度	484,834	6.0%	500,947	249,960	90,538	339,498	306,673	12,823	319,596	7,249	4,383	11,628	1,051,812	113,855	1,165,667
対前年比	93.5%	208.3%	94.9%	94.5%	130.4%	104.1%	97.4%	119.8%	88.3%	87.2%	134.7%	105.1%	94.8%	133.5%	88.8%

【製材工場実績】

(単位: m³)

年度	製品生産量			製品出荷量				
	カラマツ以外	カラマツ	計	カラマツ以外	カラマツ	合計		
平成24年度	96,612	124,779	221,391	97,267	20,287	122,907	86,211	220,174
平成23年度	100,840	137,772	238,612	99,107	23,563	136,670	83,951	236,041
対前年比	95.8%	90.6%	92.8%	98.1%	86.1%	89.8%	102.8%	93.3%
平成22年度	103,284	133,188	236,472	106,518	23,510	132,490	92,038	239,008
対前年比	93.5%	93.7%	93.6%	91.3%	86.3%	92.8%	93.7%	92.1%

【合算工場実績】

(単位: m³)

年度	生産量(千m ³ ・実平方)				出荷量(千m ³ ・実平方)				出荷額(百万円)			
	単板	ラワン	ラワン	計	単板	ラワン	ラワン	計	単板	ラワン	ラワン	計
平成24年度	60,270	43	15,371	60,302	0	39	0	4,266	11,610	8,277	7,342	15,617
平成23年度	62,056	19	15,183	62,087	0	22	0	4,416	10,545	9,118	7,314	15,432
対前年比	97.1%	221.1%	101.2%	97.1%	-	177.3%	-	103.9%	110.1%	90.8%	100.4%	96.1%
平成22年度	60,128	28	14,466	59,963	0	139	0	5,563	9,747	8,254	6,101	14,355
対前年比	100.2%	150.0%	106.5%	100.6%	-	28.0%	-	86.2%	119.1%	100.3%	120.5%	108.6%

まとめ

経営改善を支援していくとともに長期的な視点に立った森林整備計画を策定する必要がある。

地域材の利用促進に関しては森林所有者、製材業者、建設業者の連携を強化し、地域材の製品情報や有用性の情報提供も必要

